

●ブックトークシナリオ

【テーマ】 エスディージーズ **SDGs**って何？
【対象】 小学校5・6年生
【所要時間】 24分

シナリオの記載方法について

- 動作は□で囲ってあります。
- 表示したページ番号は、ここで使用した本によります。版が違う場合は、確認してください。
- 本を朗読する部分は、【 】で囲った太字になっています。
- 本と本をつなぐ言葉は二重下線を引いてあります。

【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	すし屋のすてきな春原さん	戸森しるこ／作 しんやゆう子／絵	講談社	2020
2	イクバル	キアーラ・ロッサーニ／文 ピンバ・ランドマン／絵 関口英子／訳	西村書店	2017
3	みんなはアイスをなめている	安田夏菜／作 黒須高嶺／絵	講談社	2020
4	トイレをつくる未来をつくる	会田法行／写真・文	ポプラ社	2014
5	グレタのねがい	ヴァレンティナ・キャメリ ニ／著 杉田七重／訳	西村書店	2020

【シナリオ】

●導入

エスディージーズ

SDGsという言葉を知っていますか？「Sustainable Development Goals」の略で、日本語訳は「持続可能な開発目標」です。分かりやすく言うと、誰もが元気で幸せに暮らすために、今、地球で起きている困りごとをどうすれば解決できるか、世界の国々が考えて決めた17の目標（ゴール）のことです。目標の期限は2030年、丁度、皆さんが大人になる頃です。どんな困りごとがあり、どうすれば解決できるのでしょうか？ 目標がわかる本や、考えるヒントになる本を紹介します。

1 『すし屋のすてきな春原さん』

皆さんは「男の子なんだから、〇〇しなさい」とか、「女の子だから、〇〇しちゃだめ」と言われたことがありますか？

子どもの発言（例「ある」「〇〇しなさいって言われた」「〇〇しちゃだめって言われた」）を聞く表紙をみせる

この本『すし屋のすてきな春原さん』は、SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」を考えるきっかけになる本です。

p.76 24行目～25行目を読む

ジェンダーとは【生物学的な性別のことでなく、男らしさや女らしさといった社会的・文化的な役割などの、男女の違い】のことです。

表紙を見せ、すし職人の女性（春原さん）、女の子（美緒）、男の子（伝）の順に指さす

この本には、女だから無理だ、と言われて、「どうして？」と皆で考えるシーンがあります。どんな物語が紹介します。登場するのは、すし職人の女性、春原さんと、すし職人にあこがれる小学校5

年生の女の子、海江田美緒、クラスメイトの男の子、小林伝です。

p.12~13 イラストを見せながら、p.12 3行目~8行目を読む

物語は伝がお父さんに、回転寿司よりちょっと高級なお寿司屋さんに連れて行ってもらう場面から始まります。【のれんをくぐって店の中に入ると、まだ時間が早いせいか、お客さんはだれもいなかった。(中略) その向こうに、白い服に白い帽子をかぶった女の人がひとり。「いらっしやいませ」その人が、すし職人の春原さんだった。】

p.14 2行目~12行目を読む

二日後、休み時間に伝の教室でこんなことがありました。【「美緒ちゃんって、イタリアンのシェフになりたいって、いってなかったっけ」(中略) 松田さんは素直に感心していたけど、近くにいた渡辺が、余計な口をはさんだ。「えー、すし?それ、無理じゃね?」】

p.16 イラストを見せながら、1行目~5行目を読む 【すし職人になりたいらしい海江田さんは、渡辺にきき返した。「どうしてそう思うの?」「だって、すし職人って男の仕事だろ。女が握ってるの、見たことない!」】

表紙を見せる

すし職人は男の仕事で、美緒は女だから無理なのではないでしょうか? 本の続きが気になる人は、読んでみてください。

2 『イクバル』

『すし屋のすてきな春原さん』は日本で働く場合でしたが、今度は海外の場合です。誰が働いているのでしょうか?

表紙を見せ、男の子(イクバル)を指さす

子どもたちです。表紙に描かれている男の子が主人公です。名前は、イクバルです。

p.4~p.17 まで読み聞かせ

最初から少し読みます。【地球という名の星で 夜明けとともに太陽が地球を照らしはじめるとたくさん子どもたちが外に出て、とぼとぼと歩き出す。(中略) そんな子どもたちにとって働く時間はあまりに長く、ねむる時間はあまりに短い。】

p.26~33 まで読み聞かせ 【イクバルもそのひとりだ。(中略) 1日じゅう朝から晩まで来る日も来る日も】

イクバルがじゅうたん工場で働き始めたのは、4歳の時です。

p.38~39のイラストを見せ、足のくさを指さす

イクバルにはたくさん夢があります。夢の1つは、自由になることです。逃げだそうとすると連れ戻され、じゅうたんを織る機械に、鎖でつながれてしまいます。

イクバルはあきらめず、もう一度逃げ出し、町で行われていたデモで勇気を出して訴えました。

p.66~67 まで読み聞かせ 【「ぼくの名前はイクバル。ぼくは児童労働をさせられています。」話しおえたイクバルがステージからおりてくると、女の人が手紙を持たせてくれた。「これを親方にわたしなさい。ここに、あなたは自由だと書かれています!」】

イクバルは工場の親方に手紙を渡しました。ところが親方は、手紙を破り捨ててしまいました。イクバルは永遠にじゅうたん工場で働かされるのでしょうか?

表紙を見せる

この絵本『イクバル』は、パキスタンで本当にあったことを基に紹介しています。もし、自分が学校に行けず、じゅうたん工場で働かなくてはならなかったら?と想像してみてください。

なぜ、子どもが働かされるのだろうか?と思ったら、最も関連があるSDGsの目標8「働きがいも成長も」について調べてみましょう。その他にSDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」や、目標12「つくる責任つかう責任」も関連があります。

3 『みんなはアイスをなめている』

表紙を見せ、男の子(陸)を指さす

この本はSDGsの目標1「貧困をなくそう」に関係する本です。先程登場したイクバルは、デモで自分が働かされている、と訴えることができました。けれどもこの陸、という名の少年は、家にお金がないことが原因で他の皆と違うことがある、と心がモヤモヤしても我慢しています。本のタ

イトルを見てください。『みんなはアイスをなめている』。陸はどんな暮らしをしているのでしょうか。

p.7 イラストを見せ、p.6 9行目～p.8 4行目を読む 【シャツシャツ シャツシャツシャ
うす暗い台所で、米をとぐ。おれの日課だ。母ちゃんは介護士で、たいてい帰りが遅い。(中略)
ちょっと墓参りしてくる、と言って出かけたきり、ふつつりいなくなってしまった。】

小学校6年生の陸は、毎日学校から帰ると自分と妹、美波のためにご飯を炊きます。炊飯器のスイ
ッチを入れたら、買い物に行きます。夕ご飯のおかず代は500円です。500円でどんなおかず
が買えるのでしょうか？

p.11 イラストを見せ、p.10 9行目～p.11 5行目を読む 【スーパーのお惣菜売り場で、
おれは今日も腕組みをする。この五百円で、美波とふたり分のおかずを買わなければいけない。値
引きされた鳥のからあげを見つけた。(中略)この鳥のからあげ買ったら、もう買えない。】

悩んでいると、甘いお菓子が大好きな美波がチョコレートを買ってと言いました。そこで、陸はか
らあげを棚に戻し、安いハムカツとチョコを買いました。野菜はありません。陸はここでモヤモヤ
します。どう思ったのか読んでみます。

p.19 イラストを見せ、2行目～7行目を読む 【レジをすませて、エコバッグに品物を移しな
がら考える。こうして、ハムカツもチョコも買える。白いご飯も食べられる。小学校にも通えるし、
きれいな水も飲める。飢えて病気になって、死んだりはしない。けれど、なんだかモヤモヤする。
食べられて、学校に行けて、命さえあったらそれで幸せなんだろうか。幸せだって思えないおれが、
いけないだろうか。】

p.37 イラストを見せ、p.36 1行目を読む

ある日、美波が「歯が痛い!」と泣き出しました。【「なんで、そんなに痛くなるまで、ほっとい
たんだよ!」】

p.36 6行目～p.37 7行目を読む 【「あした歯医者に連れてってもらおう」そう言うと、
美波ははげしく首を横にふった。(中略)「歯医者さん、お金いるんでしょ?お金かかると、おか
ーさん悲しい顔になるもん。もっと元気がなくなるもん」】

美波は、お金がかかると困ると思い、歯医者に行くのを我慢していたのです。その晩はタオルでほ
おを冷やしました。ところが、次の日、ほっぺはぷっくり腫れ、美波はまた「痛い」と泣きました。
どうしたらいいのでしょうか? 陸が持っているお金は、夕ご飯のおかず代500円だけです。歯医
者はいくらかかるのでしょうか?

表紙を見せる

歯医者に行くお金がなくて困っていた陸と美波は、この後、助けてもらえることとなります。誰が
助けてくれたのでしょうか? 陸がモヤモヤしていたのは、無事解決されたのでしょうか?

4 『トイレをつくる未来をつくる』

表紙を見せる

前の本で登場した美波は歯が痛くて困っていましたが、次の本も、健康に関係があります。

表紙から、p.3 まで読み聞かせ 【僕は今、東ティモールという国に来ています。(中略)せっせ、
せっせと穴を掘っています。この穴、なんの穴でしょう?】

子どもの発言(例「ゴミを埋める」「落とし穴」「トイレ」)を聞く

答えはこちら。読みます。

p.4 ～p.9 8行目まで読み聞かせ 【ドミンゴスさんも笑顔で穴を掘っています。みんな何を
しているのでしょうか。(中略)家が密集していない農村部では、屋外で排泄することがあたりまえ
でした。】

なぜ、トイレを作ったのでしょうか? 小学生の女の子ジェニーが教えてくれました。

p.26～27 写真を見せ、p.26 12行目を読む 【「トイレができてから下痢をしなくなった
の!】どうやらトイレは病気にかかること、つまり健康と関係がありそうです。

表紙を見せる

この本『トイレをつくる未来をつくる』は、SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」が
よくわかる本です。

5 『グレタのねがい』

SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」に大きな影響を与えた少女がいます。

表紙を見せる

15歳の少女グレタさんです。グレタさんがどんなことをしたのかわかる部分を読みます。

p.7 2行目～5行目を読む 【スウェーデンのストックホルムに暮らすグレタ・トゥーンベリは、8月のある朝、地球を救うために立ち上がろうと心を決めた。気候の変動によって地球はどんどん熱くなっている。このまま放っておいたら大変なことになる。なのに、どうしてみんなは平気でいられるのだろう。】

p.8 2行目～9行目を読む 【その日グレタは、長い髪を2本の三つ編みにして、チェックのシャツの上に青い上着を着て、両親と暮らす家を出た。(中略)でもグレタは学校には行かず、自転車に乗って町の中心にある国会議事堂へむかった。】

グレタさんは、地球温暖化が進むと私たちは地球に住めない、地球の未来のために何ができるかな？と真剣に考え、たった一人で「学校ストライキ」を始めたのです。人々の反応はどうだったのでしょうか？ ストライキ最初の日の反応です。

p.10 6行目～7行目を読む 【プラカードを持っている女の子を見て、通りかかった人はふしぎそうな顔をする。いったいこの子はだれで、何をやっているのか。】

p.10 13行目～p.11 2行目を読む 【2日目に入ると、驚くことが起きた。(中略)3日目になると、うれしいことに、いっしょに地面にすわる人が出てきた。】

p.11 6行目～10行目を読む 【ストライキが6日目に入ったところで、グレタはみんなに持ちかけた。この問題について、インスタグラムやツイッターなどで写真や情報をシェアしよう。(中略)その結果、グレタたちのストライキはニュースになってまたたくまに広がった。】

p.12～13 イラストを見せ、p.12のプラカードを順に指さし、書かれている言葉(英語と日本語訳)を読む

これが国会議事堂の前に座ってストライキに参加している人たちです。プラカードに書かれている言葉を読みます。【OUR FUTURE IN OUR HANDS ぼくたちの未来はぼくたちの手に】【^{ハッシュタグ}# FRIDAYS FOR FUTURE 未来のための金曜日】

表紙を見せる

世界中の子どもたちに広がった学校ストライキのことや、今すぐ私たちが温室効果ガスを減らすためにできることを知りたい人は、『グレタのねがい』を読んでみてください。

●まとめ

紹介した本の表紙を順に見せ、本の書名を言う

さて、SDGsの目標がわかる本や、考えるヒントになる本5冊を紹介しました。最初はすし職人をめざす女の子、美緒が登場する物語『すし屋のすてきな春原さん』、次にじゅうたん工場で働かされる少年イクバルが自由を求める話『イクバル』、働くお母さんの代わりに毎日自分と妹の夕ご飯を用意する少年、陸の物語『みんなはアイスをなめている』、トイレを作ることがなぜ健康に関係するかわかる本『トイレをつくる未来をつくる』、最後は、地球を救う活動を始めた勇敢な少女グレタさんの話『グレタのねがい』です。今日紹介した本は、全部図書館にありますので、ぜひ読んでください。

【その他の本】 こちらの本もおすすめです。また、ご自身で追加・差し替えをするなど工夫してみましょう。

OSDGsについてわかる本

- 『世界がぐっと近くなるSDGsとボくらをつなぐ本』 池上彰/監修 学研プラス 2020年
- 『みんなで作ろう!サステナブルな社会未来へつなぐSDGs』 全3巻 小峰書店 2021年
- 『国谷裕子とチャレンジ! 未来のためのSDGs』 全4巻 国谷裕子/監修 文溪堂 2019年
- 『世界を変えるSDGs』 小林亮/監修 あかね書房 2020年
- 『10歳からの図解でわかるSDGs』 平本督太郎/著 メイツユニバーサルコンテンツ 2021年
- 『12歳までに身につけたいSDGsの超きほん』 蟹江憲史/監修 朝日新聞出版 2021年
- 『こどもSDGs』 秋山宏次郎/監修 バウンド/著 カンゼン 2020年

OSDGsの目標1 貧困をなくそう

- ・『SDGsのきほん 2 貧困』 稲葉茂勝／著 渡邊優／監修 ポプラ社 2020年
- ・『地球村の子どもたち 1 格差 ～途上国から見たSDGs～』 石井光太／著 少年写真新聞社 2020年
- ・『持続可能な地球のために-いま、世界の子どもたちは 第1巻 安心してくらしたい』 茂木 ちあき／著 新日本出版社 2018年
- ・『シリーズ・貧困を考える』 全3巻 稲葉茂勝／著 池上彰／監修 ミネルヴァ書房 2017年
- ・『シリーズ知ってほしい!世界の子どもたち 1 スラムのくらし』 米倉史隆／写真・文 新日本出版社 2017年

OSDGsの目標4 質の高い教育をみんなに

- ・『SDGsのきほん 5 教育』 稲葉茂勝／著 渡邊優／監修 ポプラ社 2020年
- ・『持続可能な地球のために-いま、世界の子どもたちは 第2巻 学校にいきたい』 茂木 ちあき／著 新日本出版社 2018年
- ・『ランドセルは海を越えて』 内堀タケシ／写真・文 ポプラ社 2013年
- ・『7年目のランドセル ～ランドセルは海を越えて、アフガニスタンで始まる新学期～』 内堀 タケシ／写真・文 国土社 2020年

OSDGsの目標5 ジェンダー平等を実現しよう

- ・『SDGsのきほん 6 ジェンダー』 稲葉茂勝／著 渡邊優／監修 ポプラ社 2020年
- ・『こどもジェンダー』 シオリーヌ／著 松岡宗嗣／監修 村田エリー／絵 ワニブックス 2021年
- ・『武器より一冊の本をください』 ヴィヴィアナ・マツァ／著 横山千里／訳 金の星社 2013年
- ・『考えよう!女性活躍社会』 全3巻 孫奈美／編 汐文社 2017年
- ・『世界じゅうの女の子のための日 ～国際ガールズ・デーの本～』 大月書店 2021年

OSDGsの目標6 安全な水とトイレを世界中に

- ・『SDGsのきほん 7 水とトイレ』 稲葉茂勝／著 渡邊優／監修 ポプラ社 2020年
- ・『いま「水」を考える』 全3巻 沖大幹／監修 岩崎書店 2021年
- ・『わたしたちの地球環境と天然資源 1 水』 本間慎／監修 こどもくらぶ／編 新日本出版社 2018年
- ・『水とトイレがなかったら? ～おはなしSDGs 安全な水とトイレを世界中に～』 石崎洋司／作 下平けいすけ／絵 講談社 2021年

OSDGsの目標8 働きがいも経済成長も

- ・『SDGsのきほん 9 労働と経済』 稲葉茂勝／著 渡邊優／監修 ポプラ社 2020年
- ・『イクバルの闘い』 新装版 フランチェスコ・ダダモ／作 荒瀬ゆみこ／訳 鈴木出版 2019年
- ・『イチからつくるチョコレート』 APLA／編 オルター・トレード・ジャパン／編 ハンチハル／絵 農山漁村文化協会 2018年
- ・『コーヒー豆を追いかけて ～地球が抱える問題が熱帯林で見えてくる～』 原田一宏／著 くもん出版 2018年
- ・『なぜ僕らは働くのか』 池上彰／監修 学研プラス 2020年

OSDGsの目標12 つくる責任つかう責任

- ・『SDGsのきほん 13 生産と消費』 稲葉茂勝／著 渡邊優／監修 ポプラ社 2021年
- ・『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』 ムヒカ／述 くさばよしみ／編 中川学／絵

汐文社 2014年

- ・『持続的な社会を考える新しい環境問題 1 食品ロス』 古沢広祐／監修 金の星社 2021年
- ・『持続的な社会を考える新しい環境問題 4 エシカル消費』 古沢広祐／監修 金の星社 2021年
- ・『しあわせの牛乳 ～牛もしあわせ!おれもしあわせ!～』 佐藤慧／著 安田菜津紀／写真 ポプラ社 2018年
- ・『未来を変えるレストラン ～おはなしSDGs つくる責任つかう責任～』 小林深雪／作 めばち／絵 講談社 2021年

OSDGsの目標13 気候変動に具体的な対策を

- ・『SDGsのきほん 14 気候変動』 稲葉茂勝／著 渡邊優／監修 ポプラ社 2021年
- ・『気温が1度上がると、どうなるの?』 K.S.シュライバー／文 S.マリアン／絵 竹内薫／監修 松永美穂／訳 西村書店 2021年
- ・『気候変動 ～何がおこる?何ができる?～』 アンドレア・ミノリオ／文 ラウラ・ファネッリ／絵 関口英子／訳 江守正多／日本語版監修 大月書店 2021年
- ・『地球があふない!地図で見る気候変動の凶鑑』 ダン・フッカー／著 フランス・ベルクハウト／監修 カースティン・ダウ／監修 大河内直彦／監修 山崎正浩／訳 創元社 2021年
- ・『はかって、へらそうCO2 1.5℃大作戦』 全2巻 地球環境戦略研究機関／監修 さ・え・ら書房 2021年

山梨県立図書館 2022.1